

事前評価調書

I 事業概要																																							
事業名	交通安全対策事業（交差点改良事業）																																						
地区名	主要地方道 <small>とよたあけちせん</small> 豊田明智線																																						
事業箇所	<small>とよたしひらとぼしちょう</small> 豊田市平戸橋町																																						
事業のあらまし	<p><small>ひらとぼし</small> 平戸橋西交差点は、一般国道 153 号と主要地方道 <small>とよたあけちせん</small> 豊田明智線及び主要地方道 <small>なごやとよたせん</small> 名古屋豊田線が交差し、北にトヨタ自動車^{ひろせ}広瀬工場を始めとする工業団地、南西の豊田市街地方面、東の豊田市^{あすけ}足助地区方面などを結ぶ交通の要衝である。</p> <p>当該交差点は、線形の不良から交通信号が 3 現示となっているため、朝夕のみならず日中も渋滞が発生し、それに起因する事故も発生しているほか、迂回する通過交通が生活道路に流入するなど周辺地区も大変危険な状態となっている。</p> <p>以上を踏まえ、交通死傷事故の削減と交通円滑化を主な目的として、線形改良及び右折車線を設置する交差点改良に着手するものである。</p>																																						
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>① 交通死傷事故の削減 ② 交通円滑化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																																						
事業費	事業費		内訳																																				
	2.50 億円		■工事費 1.00 億円、■用補費 1.20 億円、■その他 0.30 億円																																				
事業期間	採択予定年度	平成 30 年度	着工予定年度	平成 33 年度	完成予定年度	平成 34 年度																																	
事業内容	・交差点改良 延長 L=0.12km、幅員 W=15.75m																																						
II 評価																																							
①事業の必要性	1) 必要性	<p>・線形の不良から交通信号が 3 現示となっているため、朝夕のみならず日中も渋滞が発生し、それに起因する交通事故が発生している。また、渋滞を避けるため迂回する通過交通が生活道路に流入し、周辺地区も大変危険な状態となっている。</p> <p>(H25～H28 死傷事故件数 3 件、死傷事故率 258 件/億台キロ)</p>																																					
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>・主要な幹線道路同士の交差点で、事故が多発しており、事故の防止を図るため、交差点の改良が必要である。</p>																																				
②事業の実効性	1) 事業計画	<p>事業計画及び実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #add8e6;"> <th colspan="2"></th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費(億円)</td> <td colspan="5">2.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業費について、今後5年間分の事業費と、それ以降の残事業費を記載する。</p>							H30	H31	H32	H33	H34	工種 区分	調査・設計	←→					用地補償		←→				工事				←→	→	事業費(億円)		2.5				
			H30	H31	H32	H33	H34																																
工種 区分	調査・設計	←→																																					
	用地補償		←→																																				
	工事				←→	→																																	
事業費(億円)		2.5																																					

2) 地元の合意形成	地元からの整備要望の声が強く、地元合意形成は容易になされる。	
判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。
	【理由】 円滑な事業執行環境が整っており、事業の実効性は高いものとする。	
Ⅲ 対応方針		
事業実施が妥当である。	事業実施が妥当である。： 上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。： 上記以外のもの。	
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>・事業前後の事故件数または死傷事故率、事故状況など、自転車や歩行者の安全性の変化。</p>		